

～新しくなる 肱川橋とともに 大洲の町を再発見～

発行元
肱川橋橋梁架替工事連絡協議会



住所／大洲市大洲1003
電話番号／0893-24-3660



本堂にある「曹溪院」は6代泰衛公の書



大洲藩主加藤家の菩提寺として 400余年の歴史を今に伝える 名刹を訪ねて... 龍護山曹溪院

「加藤光泰霊廟並びに大洲藩主加藤家墓所」として大洲市指定史跡となっている「龍護山曹溪院」。大洲藩主加藤家の墓所は龍護山と如法寺に分かれていたが、龍護山には藩祖加藤光泰公をはじめ大洲藩初代藩主の貞泰公、6代泰衛公、8代泰行公、10代泰濟公、11代泰幹公、13代泰秋公の7名が祀られているという。歴代藩主の菩提寺として400年余りの時を刻んできたこの名刹を訪ねてみたが、まず気になったのがその寺号「曹溪院」。この由来に関して現在の和尚さんにお話をうかがうことができた。

その歴史は文禄の時代に遡る。当時、豊臣秀吉公の下、甲州(山梨県)二十四万石の太守であった加藤家の始祖である光泰公は、文禄の役により、朝鮮釜山にて急逝。法名は曹溪院殿剛園公勝大居士。文禄三年(1594)、二代貞泰公が光泰公の菩提を弔うための堂宇を甲州に建立した。つまり「曹溪院」は、光泰公の法名からきているというわけだ。その後、元和3年(1617)、貞泰公の大洲藩転封に伴い、大洲の地に曹溪院は再建された。やがて天明の時代には藩命により始祖光泰公の院殿号「曹溪院」を呼ぶことが禁止され、山号の「龍護山」で呼ぶことを命ぜられた。

境内の奥に進むと朱塗りの赤門がある。赤門は位が正三位以上でないといけないもので、大洲藩初代藩主貞泰公が正二位であったため朱塗りが許されたという。門をくぐった先には光泰公らの廟所が祀られている。また、火事により一度焼失したが、300年ほど前に再建されたという本堂には、正面に本尊の釈迦如来像、向かって右に開山九嶽和尚、左に開基曹溪院殿像が安置されている。



本堂には、向かって左側に歴代の殿様、右側に奥方のお位牌が安置されている。奥方のお位牌には出里の紋所があらわされている



立派な鐘楼は和尚さん自ら大工さんを探し、依頼したという



しばし境内に佇んでいると、自然と心が穏やかになってゆくような感覚になる。「仏というのは亡くなった人という意味ではなく、自覚者。つまり、自分の本心本性がわかったこと。それが悟りなのです。悟りとは吾が心。心のままに生きれば、それが仏様なのです」と優しく論じてくださった和尚さんの言葉が心に染みて。寺院は、今を生きる私たちにこそ必要な場所であると深く感じた。



西国第32番観音正寺の遥拝所でもある龍護山。そのご詠歌が記されている



イベント&トピックス

おおず歴史華回廊

秋のまち歩きツアー 9月1日(木)～11月13日(日)
《全8コース》予約申込み受付中

- 秋旅 1 畠南編 百年の刻 歴史華回廊** ～殿様が愛でた風景と名職人の物語～
■料金:お1人様1,500円(畠山荘入館料、和菓子代金込み) ■開催日:毎日
■時間:11:00～13:00(約2時間)※10:50までに「まちの駅あさもや」集合 ■距離:約2km
- 秋旅 2 畠南編 麗しの浪漫華回廊** ～明治に華々しく和と洋の競演～
■料金:お1人様1,500円(畠山荘入館料、赤煉瓦カフェ代金込み) ■開催日:土曜
■時間:14:00～16:00(約2時間)※13:50までに「まちの駅あさもや」集合 ■距離:約2km
- 秋旅 3 畠北編 女子旅スイーツ華回廊** ～レトロかわいい路地散歩～
■料金:お1人様1,500円(スイーツ料金込み) ■開催日:土曜 ■時間:11:00～12:30(約1時間30分)※10:50までに「JR伊予大洲駅」集合 ■距離:約2km
- 秋旅 4 長浜編 長浜 赤い橋華回廊** ～浜町長浜をまちなみ散策～
■料金:お1人様1,500円(サザエのつかみ取り体験、おやつ代込み) ■開催日:土曜
■時間:10:00～12:00(約2時間)※9:50までに「大洲市役所長浜支所」集合 ■距離:約1.5km
- 秋旅 5 畠南編 大洲城下町 華回廊** ～城下町の町割りと復元天守～
■料金:お1人様1,500円(大洲城入館料、和菓子代金込み) ■開催日:日曜・祝日
■時間:14:00～16:30(約2.5時間)※13:50までに「まちの駅あさもや」集合 ■距離:約2.5km
- 秋旅 6 畠南編 女子旅 Kimono-Day 華回廊** ～着物と人力車で大洲散策～
■料金:お1人様7,000円(着物レンタル、着付け代、畠山荘入館料、和菓子代、人力車利用代込み) ■開催日:9/11、9/25、10/9、10/23 ■時間:11:00～13:00(約2時間)※10:30までに「まちの駅あさもや」集合 ■距離:約1km(人力車移動含みます)
- 秋旅 7 河辺編 柚木 紅葉華回廊** ～歴史ある柚木地区を紅葉めぐり～
■料金:お1人様3,000円(畠山荘入館料、昼食、いもたき代込み) ■開催日:11/13
■時間:10:00～13:30(約3.5時間)※9:50までに「まちの駅あさもや」集合 ■距離:約6km
■その他:1泊2日の宿泊コースもあります。

秋旅 1～7 お申し込み・お問い合わせ

TEL: 0893-57-6655 (大洲観光総合案内所)
http://www.asamoya.com/kairoh/

秋旅 8 河辺編 坂本龍馬脱藩の道 ～ミニウォークと懐かしさを楽しむ～

■料金:お1人様3,500円(昼食代、参加費込み) ■開催日:第3土曜(9/17、10/15)
■時間:9:30～13:00頃まで※9:00までに「河辺ふるさとの宿」集合 ■距離:約2.5km
■その他:1泊2日の宿泊コースもあります。

秋旅 8 お申し込み・お問い合わせ

TEL: 0893-39-2211 (河辺ふるさとの宿)
http://www.kawabe-furusato.com/



「羅ランチ (850円)」は平日限定15食。
ドリンクセットは1,200円。
写真のケーキセットは1,580円。
電話予約も可能



大洲城の麓で心なごむひととき、手づくりの味が優しいカフェ。大洲城の近くにある「羅り溜れ槽」は、和の佇まいにホッと落ちつくカフェ。古民家風の店内にはアンティーク雑貨などがディスプレイされており、どこか懐かしさを感じられる。お料理もスイーツも手づくりが基本で、中でも人気の「羅ランチ」は、朝一で出汁をとるところからはじめるという。お肉は一度湯通しをして余分な油を落とすなどの手間も惜しまず、野菜はすべて大洲産の物を使用。メイン「からだに美味しい」を考えたバランスの良い健康的な献立が並ぶ。

また、大根おろしと和風ソースをはじめ、きのこのソース、ビーフシチューの煮込みみなど様々なスタイルで味わえるハンバーグも好評。ワッフルやケーキなどの自家製スイーツとともにゆったり昼下がりを過ごすのもおすすめ。

羅り溜れ槽

大洲グルメを たずねて



住所／大洲市大洲727
電話番号／0893-24-2576
営業時間／10:00～19:00
定休日／月曜
(祝日の場合は翌日)



肱川橋架替工事レポート⑥

大洲市民の皆様を支えられ新しく生まれ変わる肱川橋です。

大正2年の初代完成から100年以上、大洲市民の生活を支えてきた肱川橋。現在行われている5代目への架替えに関しては、地震時の耐震性の強化や、橋脚を5本から3本に減らすことで川の流れをスムーズにするという治水上の問題の解消など、様々な課題解決を目的としています。さらに、歩道を広げることで歩行者や自転車の方の通行もスムーズに。大洲市民のみなさんが安心して利用できる橋を目指して工事は進んでいます。

今回は仮橋(迂回路)の舗装工事を担当されている愛媛舗道株式会社谷岡浩之さんに、工事の進捗状況などお話を伺いました。



愛媛舗道としては、平成28年6月中旬より工期に入りました。工事内容としては、仮橋を含む迂回路の舗装です。10月中旬に仮橋の舗装が行われ、区画線やガードパイプ、転落防止柵の設置、排水構造物などの整備などが完了した後、10月末に、肱川橋から仮橋への通行切り替えを予定しています。工事状況に応じて、歩行者、自転車、自動車それぞれの通行できるルートが何度か変わりますので、案内板などの設置やチラシを配布するなど注意喚起に努めています。

また、夜間工事もありますので、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、事故のないよう安全に配慮し、進めてまいります。今後とも、ご協力のほど、ご活用くださるようお願いいたします。



左岸側舗装前



左岸側舗装後



右岸側舗装作業中

●イベントレポート

親子で工事現場を見に行こう！ ～肱川橋架替工事現場見学会～

日時/8月21日 10時30分～12時
場所/肱川橋架替工事現場、愛媛舗道株式会社
(建設機械紹介)
参加/平野スポーツ少年団の団員と保護者



国土交通省大洲河川国道事務所では、愛媛舗道株式会社との協力ののもと、大洲市内で活動している「平野スポーツ少年団」の毎年恒例の親子ふれあい行事の支援として、肱川橋架替工事の現場見学会を開催しました。まずは工事現場にて、肱川橋架替事業や工事状況



に関する説明、現場見学会やクイズなどが行われました。その後、愛媛舗道株式会社に舗装工事の機械に触れたり、乗車体験が行われ、大きな重機に子どもたちは大興奮！とても楽しい夏休みの思い出になりました。



矢野味噌

伝統を守りつつも革新的に温故知新、喜ばれる味を醸して

明治28年の創業から120年余り、大洲盆地の気候風土と肱川の清流という恵まれた環境のもと、味噌を醸造してきた矢野味噌株式会社。その売り上げの大半を占める天狗印の味噌は、大洲市民にはおなじみの味だろう。愛媛県産のはだか麦と丸大豆を原料とし、じっくりと発酵。麹の香りが際立つ甘口の素朴な味わいだ。実は、愛媛は、はだか麦の生産日本一。そして、消費者も食の安全への関心が深まっているからこそ「そのニーズに応えられるものを」と、新たに愛媛県産の材料にこだわった味噌を開発。今年発売を開始した愛媛県産原料100%使用の麦みそと合わせみそだ。はだか麦をはじめ、大豆、合わせみその場合は米も全て愛媛産。さらに塩については伯方の塩を使用しており、現在日本国内で伯方の塩を使った味噌はこちらだけだという。また、養殖日本一の真鯛を使った「真鯛だし入りみそ」も好評を博している。



今年5月には日本航空の機内食の一品として味噌が採用されるなど、全国に知名度を上げていく矢野味噌。8月には「愛媛味噌食品販売」を設立し、矢野味噌に限らず愛媛の美味しい食品を発信する役目も担っていくという。



住所/大洲市中村544-1
電話番号/0893-24-2404
営業時間/8:00～18:00
定休日/日曜、祝日、第2土曜、年末年始

大洲、いいもの探訪

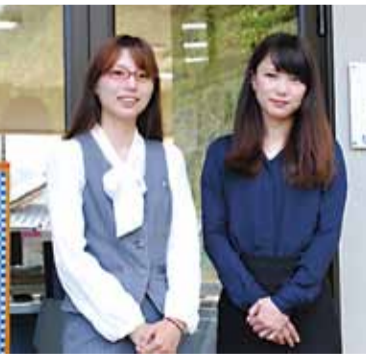
歴史の薫る大洲市。その町には、代々受け継がれている、活気のあるお店がたくさんあります。今回は、矢野味噌さんと肱川産業さんを訪ねてきました。

肱川産業



住所/大洲市柚木900-1
電話番号/0893-24-2042
営業時間/9:00～17:00
定休日/日曜、祝日、土曜の午後

地元を根を張り三代目お客様の笑顔のために



竹からボーリング、そして保険と、時代の変化に柔軟に対応してきた事業。お客様一人ひとりへの丁寧な対応など、大切な部分は変えることなく、新たな挑戦も考えていきたいと意気込んでいる。

戦後間もなく、現社長で三代目・富永一隆さんの祖父が満州から帰郷し、設立したという「肱川産業」。このあたりは竹が多く自生していることから、地元資源を活用して熊手を作る事業を開始。その後、二代目の父がボーリングチームに乗ってボーリング場をオープンさせるなどの事業を展開し、昭和40年代後半から保険の事業をはじめた。東京の大学を卒業後、帰郷した一隆さんは「高校時代、創業者である祖父が会社の歴史を話してくれて、さらに上を目指して頼むぞ」と言ってくれたんです。その時、祖父の流を汲んでやっていけたらという思いが生まれました」と振り返る。現在は保険代理店として地域に密着。その企業理念は「お客様の笑顔を通じて発展していこう」。祖父は商工会議所の会頭を務め、父もJ.C、Y.E.Gで理事長、会長を務め、一隆さんも青年部や消防団などに入り、地元根付いた活動にも積極的に参加。「地域に貢献できるように努めたい」との思いを社員の皆さんと共有している。